

# 記事詳細

[記事一覧に戻る](#)

## プロ意識持ち成長を(2015/05/28 6面) 担い手確保・育成「新入社員研修会」/ 建協人材育成対策室



県建設業協会人材育成対策室は27日、鹿児島市の県建設センターで新入社員研修会を開いた。土木、建築、設備、測量設計などの企業から、入社3年以内の新入社員約100人が参加。業界が社会に果たす役割や仕事に必要な姿勢、考え方などを学んだ。

県から受託する建設産業担い手確保・育成事業(技術力向上等事業)の一環で行われた初の新入社員向け研修会。社会人としての心構えや身につけておくべきマナー、建設産業の基礎知識、安全管理などの知識を習得する。

初日となった同日は、(株)創造経営研究所(鹿児島市)代表取締役の宇都幸雄氏らが講師を務め、建設産業と社会とのかかわりや仕事に対する姿勢などをアドバイス。「建設業者は、地域の安全と防災、便利な暮らしに貢献するプロ集団。仕事を本音で好きになり、自ら定めた目標に向かって努力していくことが成長につながる」と話した。

種子島久志室長は「事務職、技術職問わず、建設産業で働くことの意味を幅広い角度から理解してもらえたのでは。次代の担い手として、今後も基本を大切にプロ意識を持って取り組ん

でほしい」と話した。

研修会はきょう28日まで同会場で開催。2日目は接遇マナーを柱に、ビジネスの基本動作や電話対応、コミュニケーションのとり方などを学ぶ。

同協会では後日、フォローアップ研修やスキルアップ研修なども行う予定。

[更新:2015/05/28 No:675747]